



いづみ 泉 議員
ゆみ 愉美 議員

夏休み🌞
長くなった分、宿題が
増えたかな？

問 多世代が利用できる公園づくりの考えは

町長 検討する時期にきていると認識

遊具の安全性と更新

各公園の遊具点検の方法は。

町長事故を未然に防ぐため、春のオープン前に専門業者による点検を実施するほか、月に1回の職員による定期目視点検を実施している。部材ごとの点検と動作確認を行い、少しでも不具合や危険性があると判断した場合は補修が完了するまで使用禁止措置をとるなどの対策を迅速に行うよう努めている。

遊具やベンチの老朽化が気になるが、今後更新を決めているもの

はあるか。
町長昨年撤去したあけぼの団地の遊具とベンチの更新を予定している。

多世代が利用できる公園づくり

子どもが楽しく遊べる場であることはもちろん、大人にとってもくつろぎの場であり、健康づくりの場所であってほしい。

健康遊具を取り入れて、トレーニングパークを町の中心部に作る考えはないか。

町長時代の流れにより子どもの数が減り、高齢者は増えている。憩いの場として、本町でも今後の公園のあり方を検討する時期にきていると認識する。

遊具が撤去された公園の今後は

町長昨年、三つの公園で老朽化した遊具が撤

去されたが、その跡地利用の方向性は。

町長末広町のあけぼの団地については、町内会役員や子供会から意見をいただきながら、遊具を設置して親んでもらえる公園を目指していく。

西幸町公園は、大きな遊具などは設置せず、芝生広場とし、憩いの場となるような環境づくりを目指していく。



子どもから高齢者まで気軽に使える健康遊具

レク公園のアート作品

町長アート作品は訓子府にしかない唯一無二の貴重なものである。

多くの町民に知ってもらいたい。一連のプロジェクトで町民参加が進められてきたが、年代によって関わりの薄い年代があるのが課題ではないか。

町長教育長豊かな心と大切な郷土を次世代へと継承するという大きな目的をもって取り組み始めたため、まずは子どもたちの参加機会が多かったが、さまざまな意見をいただいて、大人向けのプログラムも用意するようになってきた。

町の公園の目指す姿

町長利用者の少ない公園は有効活用できる方向



町民に愛される彫刻作品が並ぶレク公園



へ転換していくべきではないか。

町長本町の公園の整備は国の補助金が算定されず、一般財源でやらざるを得ない。

公園維持管理計画も尊重しながら、公園施設の有効な活用を検討していく。



泉議員の一般質問を視聴できます